



8/24 株式会社市川組
牛乳券1650枚寄付

株式会社市川組様から牛乳券1650枚を町にご寄付いただきました。ご寄付いただいた牛乳券は小学校、こども園、高齢者福祉施設に届けられ、一人3枚ずつ、計550人に配布予定です。

市川組様は「新学期がはじまるので子どもたちに牛乳をのんで免疫を付けてもらいたい」とお話しいただきました。町長は「牛乳は成長期の子どもたちに欠かせない。非常にありがたい」と話しました。



7/16 ノベルズグループ
和牛部門で最高賞獲得

7月16日に横浜市内にて開催された「第33回横浜食肉市場ミート・フェア」(主催：横浜食肉市場株式会社)の和牛の部において、ノベルズグループ和牛肥育部門による出品牛が最高賞である「名誉賞」を獲得しました。

計134頭の上場和牛から名誉賞に選ばれた本出品牛は、肉質が最上級のA5ランクであり、霜降りの度合いを示すBMSについても最上級である12の評価を受けています。

8/25 60代男性の部3位入賞
けん玉ワールドカップ

けん玉ワールドカップ廿日市2021に参加し、60代男性の部で3位入賞を果たした鈴木豊さんが町長を訪問し、大会結果の報告をしました。

この大会は8月21日にオンラインで開催され、日ごろから練習した成果を発揮しました。

鈴木さんは「練習をたくさんやり、みなさんに教えてもらい大会の参加ができた。予定していた演技を失敗せず決めることができたのでよかった」と大会の感想をお話しいただきました。



8/18 安全に怪我無くプレーを
町民球場環境整備

8月3・4日に栗林建設株式会社様と株式会社フクタ様が地域貢献として町民球場の除草作業や、競技用のポイント入れ作業を行っていただきました。それに対し、教育長から礼状が贈呈されました。

教育長は「今回整備を行っていただいたことにより、町民の方が安全に怪我無くプレーすることができる。とても感謝している」と話し、栗林建設株式会社様からは「怪我無く安全にのびのびと使ってほしい」とお話しいただきました。



8/27 大会への意気込みを語りました
卓球全道大会5名出場

9月4日から苫小牧市で開催される2021年度北海道卓球選手権大会に参加する選手たちが教育長を訪問し、大会への意気込みを話しました。

今大会には上士幌中学校女子卓球部の新津さん、阿部さん、荒木さん、市田さん、上士幌卓球少年団の石井さんが参加します。

参加する選手からは「自分がやってきたことをすべて出して、全国大会に行きたい」「焦らず、落ち着いて自分のプレーをしたい」などお話しいただきました。



8/19 上士幌塗装株式会社
アルコールスタンド等寄付

上士幌塗装株式会社様より、消毒液スタンド3台、アルコールボトル4個、補充用の消毒液20ℓをご寄付いただきました。

ご寄付いただいた消毒液スタンドなどは、上士幌塗装様の意向により、航空公園キャンプ場のトイレに現在設置されています。

これにより管外からも来客の多いキャンプ場での感染症対策がさらに充実することとなりました。

9/3 子どもの健全育成活動に活用
十勝信用組合寄付

十勝信用組合様などから24万3,100円のご寄付をいただきました。今回のご寄付は、「しんくみピーターパンカード」の利用額の一部を子どもの健全育成活動などに寄付する取り組みの一環で行われました。

3日に十勝ガーデンズホテルで授与式が行われ、竹中町長は「子どもたちが豊かな心と健やかな体を育てていくことを願い、大いに役立たせたい」と話しました。今回いただいたご寄付は発達支援センターの跳び箱などの購入費用に充てられます。



8/19 本で旅の癒しを・・・
ぬかびら源泉郷文庫スタート

町図書館の本をぬかびら源泉郷の温泉施設に設置して、宿泊客や地域の皆さんに利用していただけるように、「ぬかびら源泉郷文庫」事業を7月から始めました。現在、趣旨にご賛同いただき、源泉郷文庫を置いている施設は、糠平温泉ホテル様・山の旅籠山湖荘様・糠平館観光ホテル様・ペンション森のふくろう様・東大雪ぬかびらユースホテル様の5施設です。また、搬送については、十勝毎日新聞販売店かちまい上士幌様のご協力をいただいています。



オリジナルCD 「上士幌Tonight」完成

上士幌町の地元バンド「G clef (ジークレフ)」による「ナイトで逢いたい」など上士幌町の情景を綴ったご当地ソングが楽しめるCDが完成しました。キーボード担当の岡崎さんは「ぜひ多くの人に聞いてほしいです」と話しました。

現在スナック話にて1,000円で販売中です。また今後道の駅かみしほろ、ハレタかみしほろ、かみしほろ情報館でも取り扱い予定です。



8/31 みんなで歩いて健康づくり 四町村歩数大決戦

9月4日から10月4日の間で開催される「四町村歩数大決戦」のオンライン開会式が行われました。このイベントは上士幌町、東神楽町、中札内村、京極町の4町村が、期間内に健康ポイント事業に参加している方の活動量計の歩数で競うものです。当日は4町村の首長がZoomを活用し、大会への意気込みを話しました。竹中町長は「今回京極町が参加することとなり、このような取り組みが広がっていくことは非常に素晴らしい」と話しました。



上士幌産の木を使用したおもちゃ 森の輪(わっこ)を配布しています

ふれあいプラザで、「すくすく十勝応援プロジェクト『森の輪(wakko)』」の一環として、赤ちゃん健診にきた生後3~4か月の赤ちゃんに森の輪(ドーナツ型の木のおもちゃ)の配布を行っています。

町の白樺を使用した森の輪を贈ることで、幼少期から親子で木に親しみを持ってもらえるよう企画されたものです。また、町内の手芸サークルの方にご協力いただき、森の輪を入れる袋にはかわいい刺繍が施されています。



地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告



TITLE: ナイタイテラスの魅力について 記: 観光誘客組織づくり推進員 澤田 勇大

2021年4月から上士幌町に来て、ナイトテラスで働き始めました。ナイトテラスには4月の初出勤の日に人生初めて行きましたが、ナイトテラスから見渡せる絶景を見て感動したことを覚えています。4月から10月までのオープンですが、季節によって変わるナイトテラスの魅力に来てくださるお客様に伝えていきたいと思っています。

まだナイトテラスで働き始めて5か月目ですが、コロナ対策である緊急事態宣言を2度経験しております。ですが、ナイトテラスの食材にこだわったナイトバーガーやローストビーフ丼、ソフトクリームなど通常通り提供しております。スタッフ同より良い商品を提供できるように日々励んでいます。天候に左右されやすいナイトテラスですが天気の良い日には上士幌を標高約800mという高さから見渡すことができます。上士幌町内とナイトテラスの天候の違いを見ることが出来ますのでぜひ足を運んでみてください。

新型コロナウイルスにより厳しい状況ではあるかもしれませんが、上士幌町ナイトテラスではお客様が安心して来店出来るように、除菌や定期的な換気をするなど感染対策を徹底しております。ナイトテラスに来られる際はぜひ安心して風景やお食事をお楽しみください。



8月・9月の まちのわだい

3 すべての人に健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人に健康的な生活を確保し、福祉を推進する

現状と達成すべき課題

1990年以降、子どもの死者数は減少傾向にありますが、それでも年間約500万人を超える子どもが5歳になる前に亡くなっています。特に途上国で多く、これらの地域では妊娠・出産時の助成の死亡率が高いほか、伝染病がまん延し、適切な予防や治療を受けられれば助かる病気であっても、多くの人命を落としています。

そのため、本目標では、すべての人が健康に暮らし、福祉を充実させることを目指しています。

私たちにできること

- ・徒歩や自転車で通勤・通学する
- ・上土幌健康ポイント事業に参加する
- ・十分な睡眠、栄養を考えた食事を心がけて体調を整える
- ・隣近所の高齢者等へ日ごろから声掛けする
- ・定期的に健康診断や予防接種を受ける
- ・交通ルールを順守した安全運転を心がける
- ・自身の禁煙、周囲への禁煙を支援する
- ・ハンデのある方を見かけたら積極的にサポートする
- ・禁止薬物などの使用、所持しない 等

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

すべての人に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

現状と達成すべき課題

世界では、小学校に通う年齢を迎えながら、通えない子どもたちが6,000万人以上いるとともに、15歳以上で読み書きのできない人は7億人以上おり、そのうち3分の2が女性です。日本では義務教育就学率は99%以上である一方、不登校の小中学生は年々増加傾向にあります。

そのため、本目標では、すべての人が無償で男女の区別なく平等に教育を受けられるとともに、働きがいのある仕事に就くための技能を持った人を大幅に増やすことを目指しています。

私たちにできること

- ・世界や日本の教育の現状を知る
- ・地域のお祭りや行事に協力・参加する
- ・地域課題の解決に向けた学習講座を受講する
- ・いじめのない社会づくりについて親子で話し合う
- ・子どもたちが体験・交流する機会をつくる
- ・読書する習慣を身につける
- ・出勤前や仕事終わりに習い事をして自分磨き
- ・不要な文房具やランドセルを寄付する 等

5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

現状と達成すべき課題

世界では依然として、女性というだけで大人になる前に結婚を強いられたり、妻が働くことを夫が合法的に制限できる国や、女性を家庭内暴力から守る法律のない国も存在します。日本でも女性の管理職比率の低さや、男女での賃金格差が問題となっています。

そのため、本目標では、女性や女児に対するあらゆる差別を根絶することや、女性自身の権利が守られるようになることなど、ジェンダーの平等を目指しています。

私たちにできること

- ・家庭や職場で存在する性別での分担を見直す
- ・男性が料理教室や育児教室などに参加することで、家事や育児などに積極的に参加する
- ・性別関係なく活躍できる環境を整備、応援する
- ・性的少数者への理解を深める
- ・役員や会議の構成員など、男女バランスを考えて選出する
- ・家庭内暴力やセクシャルハラスメントを撲滅する
- ・多文化教育やジェンダー教育を行う 等

みんなでSDGs 持続可能な開発目標

今日からできる！世界を変える一人ひとりの取り組み特集

上土幌町では、これまで行ってきた取り組みをさらに深化させることで、まちの価値を高めていこうと、SDGsの視点を取り入れたまちづくりを積極的に進めています。

SDGsの達成に向けては、国や自治体、企業、団体だけでなく、誰より私たち一人ひとりの取り組みが重要になります。そのため、町民の皆さまにSDGsを身近に感じていただけるよう、今月号から私たちが日常生活においてできる取り組みを紹介していきます。できることからSDGsに取り組んでみませんか。

1 貧困をなくそう



貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

現状と達成すべき課題

世界では1日当たり1ドル90セント(約200円)未満で暮らす人が世界で約7億8,300万人います。貧困とは、単に欲しいものが買えないことではなく、飢餓や栄養不良、教育や医療を受けられないなども含まれます。日本でも国民所得の中央値の半分に満たない「相対的貧困」と呼ばれる層が、15.7%も存在し、先進国最低のレベルです。日本も貧困問題に無縁ではありません。

そのため、本目標では、2030年までに「極度の貧困」と呼ばれる1日1ドル25セント(約135円)未満で生活する人を世界中からなくすことなど、あらゆる形態の貧困に終止符を打つことを目指しています。

私たちにできること

- ・世界や日本の貧困の状況を知る
 - ・隣近所へ日ごろから声掛けする
 - ・町の相談所や支援制度を周知、活用する
 - ・フリマアプリなどを活用し、使っていないものを必要な人へ安価に渡すような活動を行う
 - ・災害による貧困解消のため、被災地への支援や、日ごろから災害対策を行う
 - ・フェアトレードマークの付いた商品を購入する 等
- ※フェアトレード
発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動

2 飢餓をゼロに



飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

現状と達成すべき課題

飢餓で苦しんでいる人は、世界に約8億人いるといわれています。栄養不良が原因で死亡する5歳未満の子どもは年間約310万人にも上り、子どもの死者数の約45%を占めています。ただ、単純に食料生産量を増やせばいいわけではありません。無計画に生産量を増やすと、生態系や土壌、海洋に影響を及ぼし、いずれ食料の減産につながってしまいます。

そのため、本目標では、世界中の人が栄養のある食料を手に入れることができるようにするとともに、干ばつや災害などに強く、環境にも配慮された安定した食料生産システムの構築を目指しています。

私たちにできること

- ・食材は必要な分だけ、使い切りを意識して買う
- ・保存方法を工夫して廃棄せず食べきる工夫をする
- ・早く使う食材は消費・賞味期限の短いものを購入
- ・宴会などで食べることに集中する時間を設ける
- ・規格外野菜などの訳あり品を購入する
- ・オーガニック野菜を育てる・買う・食べる
- ・上土幌産の野菜を買うなど地産地消を推進する
- ・上土幌産の食材を使った食育教育を家庭などで行う 等

短歌

打ち易くなりたる蠅よ露じめる夜に二つほど打ち捨てたり
 三日ほど京都にあそぶと帰るばかりなり付焼刃ではコロナ手強し
 免疫のアップに焦るばかりなり付焼刃ではコロナ手強し
 ささやかな楽しみの中蝶が飛びわが家の庭さき草刈りをする
 秋の今日暖かい日の中蝶が飛びわが家の庭さき草刈りをする
 治まらぬコロナ禍わかにかに人の来ず九月の朝の掃除の仕事
 夏終り秋の訪れ衣替え長袖出して残りは仕舞う
 向日葵の種いっぱい重さゆえ花は下向く夏の終りに
 図案見てバックステッチに刺してゆく一針一針気持をこめて
 夏終り紫陽花の花枯れはじめ草抜くそばに蜜蜂の飛ぶ
 長電話するは友達遠距離のつながるライン携帯の先
 好きな事知識を深め親て学び動画編集技を磨きぬ
 一つ事深く思う時間無きをふと気付きたり秋の一日に
 酒蔵に寄りて今宵の晩酌に二本を購ふ増毛の町に

石米堀中中小松米高鈴瀬尾 本
 川森籠濱村松田森木木戸野 間
 裕博錦夏仁義理真誠 洋よし 栗
 子樹之介希志実恵弓也豊明乃 風

◎今月号のP25・26には私たちが日ごろからできるSDGsの取り組みについて掲載しています。ゴールだけ見ると少し難しく感じるかもしれませんが、実は身近にできることが沢山あります。今後もゴール別の取り組みを紹介していきますので、ぜひ出来る事からSDGsを意識した生活をしてみませんか?…Y

◎北海道胆振東部地震から3年が経ちました。停電のためパソコン等事務機器がろくに動かない状況でしたが、手元のスマホで災害情報をポチポチと連投していたものです。そこでわかったのは、SNSなどに頼っている方は問題なく情報収集できる一方、頼っていない方は状況を把握できないという問題でした。これを解決するため、現在では「かみしほろ情報アプリ」があります。ぜひご利用ください!…T

広報かみしほろ 11月号は10月25日(月)発行予定

令和3年 8 月末現在の人口

男性	2,429人(-6人)
女性	2,524人(-7人)
人口	4,953人(-13人)
世帯数	2,610世帯(-2世帯)

令和3年度ふるさと納税寄付金

8 月分	5,230 件 73,368,000 円
累計	20,345 件 308,605,000 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
 ※9月10日現在

寄付 (9/10まで)

◎8月18日、高橋昭博様が町の振興のため、10万円を寄付されました。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

令和3年度「上高たより」
 上士幌高校です!

No. 42
 令和3年
 9月24日

文責：教頭

TITLE:コロナ禍2年目の夏休みを終えて

7月27日(火)から8月19日(木)までの夏休みも終わり、授業が再開されました。今年もコロナウイルス感染症の関係で、生徒は自由な行動が出来なかったと思いますが、夏休み期間に部活動や講習に黙々と取り組んでいた生徒の姿は、非常に生き生きしており、充実していたように見受けられました。また、今年は町教委主催の「学びの広場」も開催され、部活動を終えてから「わか」に行き、自習に取り組む生徒の姿も見られ、非常に有意義に時間を過ごしていたのではないかと感じました。更に、吹奏楽部は、先日の高文連十勝支部音楽発表大会において「優秀賞」を受賞したということで、残念ながら全道大会には進むことが出来ませんが、今後の活躍を是非期待したいと思いました。



△わかで大学生から勉強を教わりました



△帯広市民文化ホールで次が出番の吹奏楽部



△2年生家庭科の夏休み明けテストは「キュウリの半月切り」でした

上士幌高校新聞局通信



haretaの馬拉サダ販売会に行ってきました。

文責 塚本 康太

7月30日(金)に町内のharetaで「馬拉サダ」というめずらしいパンの販売会があるということを知り、取材に出かけました。11時ころに着いたのですが、すでに親子連れやお年寄りなどたくさんの方が来ていました。売り切れるギリギリでしたが、馬拉サダと飲み物を注文して店内で食べることができました。その後すぐ完売になり、空いて来たので、この企画を主催した縄田柊二さんに話を聞くことができました。縄田さんは山口県の出身で広島大学の大学に通っていますが、「マイミチプロジェクト」に参加して上士幌に滞在する間にお世話になった方々に、子どもの時おばあちゃんが作ってくれたのを再現して販売してみようと思ったそうです。



△これが馬拉サダです。モチっとしたドーナツという感じ



△縄田さん(左)に話を聞きました



△馬拉サダにはいろいろな味のトッピングがありました